

栃木県わがまちつながり構築事業計画書(市町総括表)
【単独事業】

市町名	下野市
-----	-----

(単位:円)

No.	単独事業名		令和3(2021)年度	令和4(2022)年度	令和5(2023)年度	令和6(2024)年度	令和7(2025)年度	合計
1	国分寺地区コミュニティ盆踊り&花火大会	総事業費	0	0	3,494,668	3,705,736	3,700,000	10,900,404
		うち市町支出額	0	0	859,000	1,050,000	1,100,000	3,009,000
		うち県交付金	0	0	429,500	525,000	550,000	1,504,500
2	下野市天平マラソン大会	総事業費	0	0	4,518,256	4,728,700	4,461,500	13,708,456
		うち市町支出額	0	0	666,186	615,000	615,000	1,896,186
		うち県交付金	0	0	333,093	307,500	307,500	948,093
3	下野市産業祭	総事業費	0	0	0	5,591,544	6,000,000	11,591,544
		うち市町支出額	0	0	0	5,591,350	6,000,000	11,591,350
		うち県交付金	0	0	0	2,077,950	922,050	3,000,000
4	天平の花まつり	総事業費	0	0	0	12,770,308	20,740,000	33,510,308
		うち市町支出額	0	0	0	12,770,308	18,740,000	31,510,308
		うち県交付金	0	0	0	3,000,000	0	3,000,000
5	しもつけ燈籠会	総事業費	0	0	0	3,151,192	3,628,340	6,779,532
		うち市町支出額	0	0	0	3,151,192	3,628,340	6,779,532
		うち県交付金	0	0	0	1,500,000	1,500,000	3,000,000
6	東の飛鳥芋煮会	総事業費	0	0	0	6,036,754	5,801,843	11,838,597
		うち市町支出額	0	0	0	6,036,754	5,351,843	11,388,597
		うち県交付金	0	0	0	2,000,000	1,000,000	3,000,000
7	吉田お囃子会再興事業	総事業費	0	0	140,136	366,529	400,000	906,665
		うち市町支出額	0	0	100,000	244,000	300,000	644,000
		うち県交付金	0	0	50,000	122,000	150,000	322,000
8	楽しもう～みんなで外遊び！！	総事業費	0	0	124,419	124,009	0	248,428
		うち市町支出額	0	0	92,000	92,000	0	184,000
		うち県交付金	0	0	46,000	46,000	0	92,000
9	みんなのカタクリの里づくり事業	総事業費	0	322,654	329,048	186,622	0	838,324
		うち市町支出額	0	236,000	240,000	90,000	0	566,000
		うち県交付金	0	118,000	120,000	45,000	0	283,000
10	えごのき塾事業	総事業費	0	135,231	152,380	117,300	0	404,911
		うち市町支出額	0	101,000	76,000	58,000	0	235,000
		うち県交付金	0	50,500	38,000	29,000	0	117,500
11	かんびょうとふくべの魅力発信事業	総事業費	0	0	0	199,003	135,000	334,003
		うち市町支出額	0	0	0	100,000	100,000	200,000
		うち県交付金	0	0	0	50,000	50,000	100,000
12	教育講演会事業	総事業費	0	0	0	577,000	0	577,000
		うち市町支出額	0	0	0	100,000	0	100,000
		うち県交付金	0	0	0	50,000	0	50,000
13	吉田村の夏祭事業	総事業費	0	0	0	1,482,946	775,000	2,257,946
		うち市町支出額	0	0	0	300,000	300,000	600,000
		うち県交付金	0	0	0	150,000	150,000	300,000
14	高校生もしもプロジェクト事業	総事業費	0	0	50,774	484,810	450,300	985,884
		うち市町支出額	0	0	50,000	300,000	300,000	650,000
		うち県交付金	0	0	21,088	150,000	150,000	321,088
15	下野かんびょう・ふくべ振興事業	総事業費	0	619,932	627,911	808,236	0	2,056,079
		うち市町支出額	0	300,000	300,000	300,000	0	900,000
		うち県交付金	0	150,000	150,000	150,000	0	450,000
16	絵本の読み聞かせ事業	総事業費	0	0	0	67,428	100,000	167,428
		うち市町支出額	0	0	0	50,000	75,000	125,000
		うち県交付金	0	0	0	25,000	37,500	62,500
市町計	総事業費	0	1,077,817	9,437,592	40,398,117	46,191,983	97,105,509	
	うち市町支出額	0	637,000	2,383,186	30,848,604	36,510,183	70,378,973	
	うち県交付金	0	318,500	1,187,681	10,227,450	4,817,050	16,550,681	

栃木県わがまちつながり構築事業計画書(単位事業調書)
【単独事業】

市町名	下野市
事業名	国分寺地区コミュニティ盆踊り&花火大会
事業主体の名称	国分寺地区コミュニティ盆踊り&花火大会実行委員会
代表者の名称	実行委員長 川俣 一由
事業主体の所在	下野市小金井1127
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・団体の目的:大会開催を通じて、市民の力で地域の連帯感を醸成する。 ・設立年月日:昭和61年 ・構成員等:国分寺中央コミュニティ推進協議会及び同協議会内自治会
当該事業に係る地域の現状と課題	国分寺地区はJR小金井駅を中心とした住宅地とその周辺の農村地域からなる。集合住宅の増加や核家族化等生活様式が大きく変化し、かつての地域共同体が失われ地域の連帯感が希薄になりつつある。そのため、地域の連帯感を高めていく取り組みが求められている。
事業目的	本大会を住民自ら手づくり開催するとともに、多くの市民の来訪により、地域の連帯感を醸成する。また、地元中学生の参加により、子どもの郷土愛を醸成する。
事業概要	<p>【令和6年度】【関係人口の分類 I-d(参加・交流型)】 盆踊り&花火大会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催日:令和6年8月3日(土) ・盆踊り大会:地元お囃子会の演奏、4名の歌い手が音頭をとる中、地元各種11団体が演舞(他、自由参加も可能)、審査表彰した。 ・花火大会:20分程度花火を打ち上げた。 <p>・ケーブルテレビにて、イベントの情報発信を行ったほか、JR自治医大駅・小金井駅に設置している掲示板へのポスター掲示により、市内のみならず市外からの集客に努め、下野市との関わりを創出し、関係人口(参加・交流型)の拡大へつなげた。</p> <p>【令和7年度】 前年度開催内容を検証のうえ、改善すべき点があれば対応しながら、継続して開催していく。 なお、地元中学生には学校を通して全生徒にチラシを配布し、盆踊りへの参加を促すほか、盆踊り審査員5名のうち2名を中学生に努めてもらう。例年、会場の清掃活動においては生徒による積極的な協力が得られている。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【基本目標】④安心な暮らしを守り幸せを実感できるまちをつくる</p> <p>【数値目標】 幸せだと感じている市民割合:R1 77%→R7 80% 住みやすいと感じる市民の割合:R1 87%→R7 90%</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	令和5年度	令和6年度	令和7年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	盆踊り&花火大会の開催	盆踊り&花火大会の開催	盆踊り&花火大会の開催		盆踊り&花火大会の開催
事業費	3,494,668	3,705,736	3,700,000	10,900,404	3,700,000
市町支出金 (ソフト事業分)	859,000	1,050,000	1,100,000	3,009,000	1,100,000
うち県交付金	429,500	525,000	550,000	1,504,500	
市町支出金 (ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	2,635,668	2,655,736	2,600,000	7,891,404	2,600,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	
担当者名	
連絡先	電話
	FAX
	E-mail

栃木県わがまちつながり構築事業計画書(単位事業収支予算書)

市町名	下野市	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	国分寺地区コミュニティ盆踊り&花火大会	
対象年度	6	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
市支出金	1,050,000	下野市補助金
負担金	1,130,693	国分寺中央コミュニティ推進協議会
協賛金	1,450,000	協賛者数78社
繰越金	0	
雑収入	75,043	お祝金、利息
計	3,705,736	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
		県交付金			
報償費	168,820	0		168,820	謝金、参加賞費
消耗品費	98,921	0	0	98,921	事業用消耗品
食糧費	395,831	0	0	395,831	準備及び当日弁当・飲み物等
通信運搬費	19,124	0	0	19,124	協賛者・招待者通知
手数料	102,560	0	0	102,560	はっぴクリーニング等
保険料	45,850	0	0	45,850	損害保険料
委託料	2,874,630	1,050,000	525,000	1,824,630	花火打上、やぐら・審査員席設置、 電気設備仮設、放送設備設置、警備
計	3,705,736	1,050,000	525,000	2,655,736	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまちつながり構築事業計画書(単位事業調書)
【単独事業】

市町名	下野市
事業名	下野市天平マラソン大会
事業主体の名称	下野市スポーツ協会
代表者の名称	下野市スポーツ協会会長 吉澤 賢一
事業主体の所在	下野市笹原26(下野市教育委員会事務局スポーツ振興課内)
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・団体の目的:生涯スポーツの普及と振興を図り、市民の体力向上とスポーツマンシップを涵養することに努めるとともに、明るく豊かで潤いに満ちた市民生活と文化の形成に寄与する。 ・設立年月日:平成18年3月26日設立 ・構成員等:20種目別競技団体加盟
当該事業に係る地域の現状と課題	文化・歴史の薫る天平の丘公園周辺をコースとした天平マラソン大会は、年々参加者が増加し、市内外から2,000名を超える参加者がいた。新型コロナウイルスで令和2年度から令和4年度まで中止していたが、令和5年度から再開。本大会は本市の生涯スポーツの推進、選手間の交流及び本市のイメージアップやPRの場となっている。しかし、豊富な歴史的資源等があるにもかかわらず、単に大会への参加にとどまり、滞在時間や再来訪者が少ない。本大会は下野市の魅力を発信する貴重な機会の一つであるが、現状ではまだまだ情報発信が十分でないことが課題となっている。
事業目的	<ul style="list-style-type: none"> ・明るく健康で潤いに満ちた生活を営むための要素として、生涯スポーツの振興を図る。 ・大会を通じ、役員や参加者間の交流が生まれ地域を超えた親睦の輪を広げる機会を提供する。 ・多くの人々が集うことで地域を活性化し、地域の一体感や郷土愛の醸成を図る。 ・本市の歴史、文化、特産品、自然などの資源や魅力の発信の場とし、本市への来訪者の増加を図る。
事業概要	<p>【令和6年度】【関係人口の分類 I-d(参加・交流型)】</p> <p>開催日時:令和7年1月13日(月・祝(成人の日))</p> <p>開催場所:天平の丘公園周辺</p> <p>①大会の開催準備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市スポーツ協会陸上部と大会内容の確認を行い、その後、役員の分配を決定する調整会議、担当役員の役割についての説明会等を実施した。 ・参加申込書やプログラム等を作成した。 ・ネットエントリーサービスや市のHPを活用し、宣伝を行った。 ・コースについて前回大会時の運営役員からの情報を精査し、交通危険因子の排除及び大会の安全性向上を図った。 ・ふるさと納税でのエントリー受付を早期に開始し、イベント参加前の段階から関係人口創出を図った。 <p>②大会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・競技種目は6コースによる23クラスで実施した。 ・表彰は各クラスの1位~3位にメダル・賞状・副賞、4位~6位まで賞状・副賞を授与した。また、すべての完走者に記録証を交付した。 ・参加者全員に記念品を配布した。 <p>③市のPRの実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加者へ配布するプログラム内での広告掲載、会場内特別ブースを利用した下野市のPRを実施した。 ・プログラムに併せて観光パンフレットを配布し、大会終了後に近隣店舗に足を延ばしてもらうことで滞在時間を延ばすとともに、再来訪を促した。 <p>【令和7年度】</p> <p>令和6年度の取り組みを踏まえ、市のPRも兼ねた本市を代表するスポーツイベントになるよう取り組んでいく。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>基本目標②東京圏からの新しい人の流れをつくる、④安心な暮らしを守り幸せを実感できるまちをつくる</p> <p>【数値目標】観光入込客数:R01 223万人→R07 230万人【R1実施時 223万人】</p> <p>【KPI】スポーツ活動の実施率:R02 76.1%→R07 91.0%【市民アンケート調査(今回は令和7年実施予定)】</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳 (単位:円)

	令和5年度	令和6年度	令和7年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	第18回下野市天平マラソン大会の開催 ①大会の開催準備 ②大会の開催 ③下野市のPR実施	第19回下野市天平マラソン大会の開催 ①大会の開催準備 ②大会の開催 ③下野市のPR実施	第20回下野市天平マラソン大会の開催 ①大会の開催準備 ②大会の開催 ③下野市のPR実施		下野市天平マラソン大会の開催 ①大会の開催準備 ②大会の開催 ③下野市のPR実施
事業費	4,518,256	4,728,700	4,461,500	13,708,456	4,461,500
市町支出金(ソフト事業分)	666,186	615,000	615,000	1,896,186	615,000
うち県交付金	333,093	307,500	307,500	948,093	
市町支出金(ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	3,852,070	4,113,700	3,846,500	11,812,270	3,846,500

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	
担当者名	
電話	
FAX	
E-mail	

栃木県わがまちつながり構築事業計画書(単位事業収支予算書)

市町名	下野市	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	下野市天平マラソン大会	
対象年度	6	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
市補助金	615,000	下野市補助金
参加料	3,988,700	参加者料
協賛金	95,000	
出店料	30,000	
計	4,728,700	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
		県交付金			
報償費	1,012,342	100,000	50,000	912,342	参加者記念品、メダル代等 ステージイベント謝礼
消耗品	125,964	75,000	37,500	50,964	事務用消耗品代
印刷製本費	373,450	90,000	45,000	283,450	プログラム等印刷代
委託料	2,583,803	250,000	125,000	2,333,803	計測、仮設電機、警備委託料、仮 設トイレ、バス、手話
使用料及び賃借料	191,961	100,000	50,000	91,961	ランネット等使用料
食糧費	276,400	0	0	276,400	役員弁当代等
保険料	164,780	0	0	164,780	参加者傷害保険
計	4,728,700	615,000	307,500	4,113,700	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまちつながり構築事業計画書(単位事業調書)
【単独事業】

市町名	下野市
事業名	下野市産業祭
事業主体の名称	下野市産業祭実行委員会
代表者の名称	下野市産業祭実行委員会 会長 伊澤 仁一
事業主体の所在	下野市笹原26番地 下野市産業振興部商工観光課内
事業主体の概要	<p>・団体の目的:産業祭を円滑に開催することにより、市民の産業への関心を喚起し、本市における産業を通じた市民、観光客その他の交流及び発展に寄与する</p> <p>・設立年月日:ふれあいプラザ実行委員会(平成23年9月1日設立)、下野市産業祭実行委員会へ名称変更(平成25年8月12日)</p> <p>・構成員等:商業、工業、農業、観光関係団体の代表者</p>
当該事業に係る地域の現状と課題	従来「ふれあいプラザ」として旧石橋町の商工会により実施していたイベントを、下野市全体の産業振興のためのイベントとして実施している。コロナにより開催が見送られていたが、R5年度に第12回を数年振りに開催、63団体が出展、約5000人が来場された。本市においては、地域産業全般のPRによる市内産業の認知度向上や、下野ブランドとして認定した特産品や文化財等の地域資源のブランドイメージの定着を図り、広くプロモーション展開を図っていく課題がある。
事業目的	産業祭を通じ、市民の市内産業への関心を喚起し、産業を通じた市民、観光客等の交流を促進するとともに、下野ブランドに認定された特産品等をはじめ、本市の優れた魅力や観光等を市内外へPRし、産業及び地域活性化を図る。
事業概要	<p>【令和6年度】【関係人口の分類I-d(参加・交流型)】</p> <p>・開催日:令和6年10月27日(日)</p> <p>・会場:大松山運動公園</p> <p>・内容</p> <p>商工業者の出展: 商工会員を中心に自社製品や取扱商品等のPR・展示・販売</p> <p>各工業団地による出展: 各企業の製品・商品の展示・販売やパネル等による製造工程説明</p> <p>食と農の情報発信: 市内で生産されるかんぴょうなどの特産品を陳列・販売</p> <p>公共性のある団体による出展等: 観光協会や各種団体によるポスター等の展示</p> <p>令和6年度は新たにキッチンカーによる出展を追加したことにより、新規出展者および来場者が増加した。SNSを活用した周知を図り、市内外からの来場者増加に努めた。</p> <p>【令和7年度】</p> <p>前年度開催内容を検証のうえ、改善すべき点があれば対応しながら、本市の産業を市内外へ向けPRできるよう継続して開催していく。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【基本目標】④安心な暮らしを守り幸せを実感できるまちをつくる</p> <p>【数値目標】</p> <p>幸せだと感じている市民割合:R1 77%→R7 80%</p> <p>住みやすくと感じる市民の割合:R1 87%→R7 90%</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	令和6年度	令和7年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	第13回下野市産業祭 開催 ・実行委員会の開催 ・商工業者、公共団体 の出展 ・食と農の情報発信 ・下野ブランドPR	第14回下野市産業祭 開催 ・実行委員会の開催 ・商工業者、公共団体 の出展 ・食と農の情報発信 ・下野ブランドPR		第15回下野市産業祭 開催 ・実行委員会の開催 ・商工業者、公共団体 の出展 ・食と農の情報発信 ・下野ブランドPR
事業費	5,591,544	6,000,000	11,591,544	6,000,000
市町支出金 (ソフト事業分)	5,591,350	6,000,000	11,591,350	6,000,000
うち県交付金	2,077,950	922,050	3,000,000	
市町支出金 (ハード事業分)			0	
うち県交付金			0	
その他自主財源等	194	0	194	0

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	
担当者名	
電話	
連絡先 FAX	
E-mail	

栃木県わがまちつながり構築事業計画書(単位事業収支予算書)

市町名	下野市	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	下野市産業祭	
対象年度	6	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
市支出金	5,591,350	市補助金
雑収入	194	利子
計	5,591,544	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
		県交付金			
報償費	40,000	40,000	20,000	0	ステージ謝礼
消耗品費	21,211	21,211	10,605	0	消耗品
食糧費	13,869	13,675	0	194	会議お茶代、出演者昼食・飲み物代
手数料	4,730	4,730	2,365	0	振込手数料
保険料	16,090	16,090	8,045	0	保険料
委託料	4,400,044	4,400,044	2,036,935	0	広告委託、テント設営、音響設営、看板設置、駐車場警備、ふわふわ設置・会場内清掃・駐車場管理、会場ごみ処理、タクシー運搬、司会、ステージ
工事請負費	1,095,600	1,095,600	0	0	電気仮設工事
計	5,591,544	5,591,350	2,077,950	194	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまちつながり構築事業計画書(単位事業調書)
【単独事業】

市町名	下野市
事業名	天平の花まつり
事業主体の名称	一般社団法人 下野市観光協会
代表者の名称	一般社団法人 下野市観光協会 会長 坂村哲也
事業主体の所在	下野市小金井3009-12 オアシススポーツ館内
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> 団体の目的: 下野市における観光事業の健全なる発展を図り、地域経済の振興、郷土文化の発展に努め、公共の福祉の向上に寄与する 設立年月日: 平成25年6月27日 構成員等: 当法人の目的に賛同する個人または団体
当該事業に係る地域の現状と課題	<p>国指定史跡下野国分尼寺跡及び隣接する平地林を含む天平の丘公園で開催される桜のまつりであり、花広場を中心に日本三大桜(神代桜、根尾谷の淡墨桜、三春の滝桜)の子孫樹をはじめ数種類の桜が順次咲き揃い、3月下旬から5月上旬まで開催される。</p> <p>本市の課題として、観光資源が少ないという現状がある。地域資源を有効に活用し、地域住民の郷土愛醸成及び関係人口の増加を図っていくことが課題となっている。</p>
事業目的	市民が花を楽しみながら交流を図り、地域の魅力を再認識して郷土愛を育むとともに、重要な観光資源として関係人口の増加を図る。
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 観光協会のHPや市のHP、広報、FMゆうがおや定例記者会見での周知などで積極的に誘客を図った。 SNSを活用し、市内外への周知を図り集客に努めた。 会場にある、国分寺・国分尼寺などの本市の歴史文化を併せて周知し、郷土愛醸成を図った。 <p>(市支出金の対象事業期間は令和6年4月1日から令和7年3月31日まで)</p> <p>【令和6年度】 第45回天平の花まつり 令和6年3月20日～5月6日【関係人口の分類 I-d(参加・交流型)】 ①淡墨桜期間 3月20日～3月31日 10:00～16:30 ②花しらべ期間 4月1日～4月9日 10:00～17:30 ③花まつり本番期間 4月10日～4月26日 10:00～17:30(4月12日～20日 10:00～20:30) ④ゴールデンウィーク期間 4月27日～5月6日 10:00～17:30 ⑤令和7年3月開催に向けた準備 【令和7年度以降】 第46回の花まつりについても、令和7年3月20日～実施中。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【基本目標】④安心な暮らしを守り幸せを実感できるまちをつくる</p> <p>【数値目標】 幸せだと感じている市民割合 R1 77%→R7 80% 住みやすいと感じる市民の割合 R1 87%→R7 90%</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	令和6年度	令和7年度	年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	第45回天平の花まつり ①市内商店等の出店(花まつり出店協力会) ②坊ちゃん列車、ミニ新幹線の運行 ③野外ステージイベント(歌謡ショー、ヒーローショー、文化協会、市内学校、カラオケ等) ④天平の丘公園 ⑥野点、ミニ新幹線の運行、子ども遊び広場等	第46回天平の花まつり ①市内商店等の出店(花まつり出店協力会) ②坊ちゃん列車、ミニ新幹線の運行 ③野外ステージイベント(歌謡ショー、ヒーローショー、文化協会、市内学校、カラオケ等) ④天平の丘公園 ⑥野点、ミニ新幹線の運行、子ども遊び広場等 ②チラシ、ポスター等による宣伝、周知活動			第47回天平の花まつり ①市内商店等の出店(花まつり出店協力会) ②坊ちゃん列車、ミニ新幹線の運行 ③野外ステージイベント(歌謡ショー、ヒーローショー、文化協会、市内学校、カラオケ等) ④天平の丘公園 ⑥野点、ミニ新幹線の運行、子ども遊び広場等 ②チラシ、ポスター等による宣伝、周知活動
事業費	12,770,308	20,740,000		33,510,308	20,740,000
市町支出金(ソフト事業分)	12,770,308	18,740,000		31,510,308	18,740,000
うち県交付金	3,000,000	0		3,000,000	
市町支出金(ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	0	2,000,000	0	2,000,000	2,000,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	
担当者名	
電話	
連絡先 FAX	
E-mail	

栃木県わがまちつながり構築事業計画書(単位事業収支予算書)

市町名	下野市	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	天平の花まつり	
対象年度	6	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
市補助金	12,770,308	
計	12,770,308	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
		県交付金			
報酬費	40,800	40,800		0	
食料費	37,600	37,600		0	
報償費	249,769	249,769		0	
消耗品費	132,399	132,399		0	
委託料	6,437,928	6,437,928	3,000,000	0	交通誘導等、ごみ処理、 ステージイベント
使用料	0	0		0	
工事請負費	2,960,100	2,960,100		0	
燃料費	0			0	
使用料及び賃借料	2,856,370	2,856,370		0	
手数料	55,342	55,342		0	
印刷製本費	0	0		0	
保険料	0	0		0	
計	12,770,308	12,770,308	3,000,000	0	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまちつながり構築事業計画書(単位事業調書)
【単独事業】

市町名	下野市
事業名	しもつけ燈桜会
事業主体の名称	一般社団法人 下野市観光協会
代表者の名称	一般社団法人 下野市観光協会 会長 坂村哲也
事業主体の所在	下野市小金井3009-12 オアシススポーツ館内
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> 団体の目的: 下野市における観光事業の健全なる発展を図り、地域経済の振興、郷土文化の発展に努め、公共の福祉の向上に寄与する 設立年月日: 平成25年6月27日 構成員等: 当法人の目的に賛同する個人または団体
当該事業に係る地域の現状と課題	<p>国指定史跡下野国分尼寺跡及び隣接する平地林を含む天平の丘公園で開催される燈桜会を開催。歴史を感じられる夏の風物詩として第6回を迎え、市内外から多くの来場者が見込めるイベントである。</p> <p>本市の課題として、観光資源が少ないという現状がある。地域資源を活用し、住民の郷土愛醸成及び関係人口の増加を図っていくことが課題となる。</p>
事業目的	<p>本市の重要な観光資源の一つとして定着させ、市内外から多くの来場者を呼びこみ、市への観光客数増加を図る。</p> <p>市内外からボランティアを募り、関係人口の増加に寄与する。</p>
事業概要	<p>約1,300年前の国分寺で人々の幸せを祈り行われていたとされる法会(ほうえ)を現代風にアレンジしたもので、本市が誇る天平の丘公園の桜にちなんで名付けられた。ろうそくの立ったカップ型の燈籠 約6,000個を会場内に並べ、幻想的な明かりで照らした。</p> <p>参加型のイベントとして満足感・達成感を感じていただき、郷土愛の醸成と市外からも繰り返し足を運んでもらうきっかけにしたい。</p> <p>【令和6年度】 第6回しもつけ燈桜会 令和6年7月20日(土)【関係人口の分類 I-d(参加・交流型)】 天平の丘公園にて、ろうそくの立ったカップ型の燈籠 約6,000個を会場内に並べ、幻想的な明かりで照らした。</p> <ul style="list-style-type: none"> 市内事業者の来店により、地域経済の活性化を図った。 市内外より運営ボランティアを募集し、関係人口の増加や地域住民との交流を図った。 観光協会のHPや市のHP、広報の周知などで積極的に誘客を図った。また、SNSを活用し、市内外へ向けて広く発信した。 イベント終了後のカップの洗浄を障害者就労支援施設に依頼し、障がい者の工賃増加に寄与した。 <p>【令和7年度以降】 第7回のしもつけ燈桜会についても継続を検討する予定。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【基本目標】④安心な暮らしを守り幸せを実感できるまちをつくる</p> <p>【数値目標】 幸せだと感じている市民割合 R1 77%→R7 80% 住みやすいと感じる市民の割合 R1 87%→R7 90%</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	令和6年度	令和7年度	年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	第6回しもつけ燈桜会 ろうそくの立ったカップ 型の燈籠 約6,000個 を会場内に並べ、幻想 的な明かりで照らす	第7回しもつけ燈桜会 ろうそくの立ったカップ 型の燈籠 約6,000個 を会場内に並べ、幻想 的な明かりで照らす			第8回しもつけ燈桜会 ろうそくの立ったカップ 型の燈籠 約6,000個 を会場内に並べ、幻想 的な明かりで照らす
事業費	3,151,192	3,628,340		6,779,532	3,628,340
市町支出金 (ソフト事業分)	3,151,192	3,628,340		6,779,532	3,628,340
うち県交付金	1,500,000	1,500,000		3,000,000	
市町支出金 (ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	0	0	0	0	0

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	
担当者名	
電話	
連絡先 FAX	
E-mail	

栃木県わがまちつながり構築事業計画書(単位事業収支予算書)

市町名	下野市	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	しもつけ燈桜会	
対象年度	6	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
市補助金	3,151,192	
計	3,151,192	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
			県交付金		
報償費	423,576	423,576	210,000	0	司会謝礼、ボランティア参加賞
印刷製本費	81,850	81,850	40,000	0	開催周知チラシ
消耗品費	875,329	875,329	430,000	0	ロウソク、ライター
通信運搬費	69,680	69,680	30,000	0	消耗品郵送料
委託料	849,052	849,052	400,000	0	観覧台設置・撤去、警備
工事請負費	396,000	396,000	190,000	0	電灯・飲食スペース設置
使用料及び賃借料	419,716	419,716	200,000	0	控室(コンテナ)借上料
保険料	25,989	25,989	0	0	
手数料	10,000	10,000	0	0	
				0	
				0	
計	3,151,192	3,151,192	1,500,000	0	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまちつながり構築事業計画書(単位事業調書)
【単独事業】

市町名	下野市
事業名	東の飛鳥芋煮会
事業主体の名称	一般社団法人 下野市観光協会
代表者の名称	一般社団法人 下野市観光協会 会長 坂村哲也
事業主体の所在	下野市小金井3009-12 オアシスポップ館内
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・団体の目的: 下野市における観光事業の健全なる発展を図り、地域経済の振興、郷土文化の発展に努め、公共の福祉の向上に寄与する ・設立年月日: 平成25年6月27日 ・構成員等: 当法人の目的に賛同する個人または団体
当該事業に係る地域の現状と課題	国指定史跡下野国分尼寺跡及び隣接する平地林を含む天平の丘公園で開催される芋煮会を5年ぶりに開催。本市の課題として、観光資源が少ないという現状がある。地域資源を活用し、住民の郷土愛醸成及び関係人口の増加を図っていくことが課題となる。
事業目的	市民が秋の実りで作られた大鍋を食しながら交流を図り、地域の魅力を再認識して郷土愛を育むとともに、重要な観光資源として交流人口の増加を図る。
事業概要	<p>【令和6年度】 第27回天平の芋煮会 令和6年11月3日(日)【関係人口の分類 I-d(参加・交流型)】 天平の丘公園にて、特製の大鍋で芋煮鍋を作り、来場者と一緒に味わった。 ・市内事業者の出店により、地域経済の活性化を図った。 ・市内団体等より運営ボランティアを募集し、地域団体が一体となりイベントを盛り上げると共に、地域住民との交流を図った。 ・特産品のかんぴょうを入れた芋煮鍋をつくり、特産品の周知を図った。 ・観光協会のHPや市のHP、広報の周知などで積極的に誘客を図った。また、SNSを活用し、市内外へ向けて広く発信した。</p> <p>【令和7年度以降】 第28回の芋煮会についても継続を検討する予定。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【基本目標】④安心な暮らしを守り幸せを実感できるまちをつくる 【数値目標】 幸せだと感じている市民割合 R1 77%→R7 80% 住みやすいと感じる市民の割合 R1 87%→R7 90%</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	令和6年度	令和7年度	年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	第27回天平の芋煮会 特製の大鍋で芋煮鍋を作り、来場者で味わう。	第28回天平の芋煮会 特製の大鍋で芋煮鍋を作り、来場者で味わう。			第29回天平の芋煮会 特製の大鍋で芋煮鍋を作り、来場者で味わう。
事業費	6,036,754	5,801,843		11,838,597	5,801,843
市町支出金 (ソフト事業分)	6,036,754	5,801,843		11,838,597	5,351,843
うち県交付金	2,000,000	1,000,000		3,000,000	
市町支出金 (ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	0	0	0	0	450,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	
担当者名	
連絡先	
電話	
FAX	
E-mail	

栃木県わがまちつながり構築事業計画書(単位事業収支予算書)

市町名	下野市	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	東の飛鳥芋煮会	
対象年度	6	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
芋煮券収入	0	
市補助金	6,036,754	
計	6,036,754	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
			県交付金		
報償費	65,278	65,278		0	
印刷製本費	171,930	171,930	80,000	0	ポスター、チラシ、芋煮券
消耗品費	1,596,147	1,596,147	20,000	0	使い捨て食品容器
通信運搬費	0	0		0	
委託料	1,833,695	1,833,695	900,000	0	芋煮調理、運搬
工事請負費	0	0		0	
原材料費	0	0		0	
使用料及び賃借料	2,268,343	2,268,343	1,000,000	0	配膳所、飲食用等テント借上げ
保険料	35,414	35,414		0	
手数料	65,947	65,947		0	
計	6,036,754	6,036,754	2,000,000	0	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまちつながり構築事業計画書(単位事業調書)
【単独事業】

市町名	下野市
事業名	吉田お囃子会再興事業
事業主体の名称	吉田お囃子会
代表者の名称	高德 茂
事業主体の所在	下野市本吉田653番地2
事業主体の概要	・団体の目的:地域の世代を超えた人々が参加することにより人々の交流が生まれ、地域の活性化を取り戻す ・設立年月日:令和4(2022)年7月1日 ・構成員等:吉田地区に居住する住民をおよび他の地区の住民のうち会長、副会長の承認を得たもの
当該事業に係る地域の現状と課題	少子高齢化の影響によりお囃子会のような地域のコミュニティが自然消滅してしまったり、新型コロナウイルス感染症の流行により地域のお祭りが中止されるなど、地域住民間の交流の機会が希薄化している。また、それにより地域の子どもたちの郷土愛をなくす機会が消失している。
事業目的	自然消滅したお囃子会を再結成し、講師を招聘し練習する。子どもたちの地域イベント等への参加により、郷土愛醸成と地域定着につなげる。また、地域の子どもたちによるお囃子会の活動を通して、地域全体を元気付ける。
事業概要	【令和6年度】 <活動期間> 令和6年4月1日～令和7年3月31日 週1回程度(7月～10月)の練習を行うほか、以下のイベントに参加することで活動と発表の場を確保し、子どもたちの郷土愛醸成と地域定着を図った。 ・吉田村夏祭りへの参加 開催日:令和6年7月28日(日) 開催場所:吉田東小学校跡地 参加人数:20人 ・日新デイサービスイベント参加 開催日:令和6年11月30日(土) 開催場所:日新デイサービス 参加人数:16人 ・吉田コミュニティどんと焼きへの参加 開催日:令和7年1月13日(月) 開催場所:旧吉田西小体育館 参加人数:20人 ほか、イベント2件(八坂神社祇園祭、吉田保育園クリスマス会)に参加 【令和7年度以降】 地域活性化のため、継続的に活動を行っていく。
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	基本目標④「安心なくらしを守り幸せを実感できるまちをつくる」 数値目標:幸せだと感じている市民の割合 基準値77.0% 目標値80.0% 住みやすいと感じる市民の割合 基準値86.7% 目標値90.0% KPI: 市民活動補助事業から自立し自主事業に移行した団体数 基準値23団体 目標値33団体

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	令和5年度	令和6年度	令和7年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	週1回程度の練習 吉田村夏祭りへの参加(8月) 吉田村まつりへの参加(10月)	週1回程度の練習 吉田村夏祭りへの参加(8月) 吉田村まつりへの参加(10月) 日新デイサービスイベント参加(11月) 吉田コミュニティどんと焼きへの参加(1月)	週1回程度の練習 吉田村夏祭りへの参加(8月) 吉田村まつりへの参加(10月) 日新デイサービスイベント参加(11月) 吉田コミュニティどんと焼きへの参加(1月)		週1回程度の練習 吉田村夏祭りへの参加(8月) 吉田村まつりへの参加(10月) 日新デイサービスイベント参加(11月) 吉田コミュニティどんと焼きへの参加(1月)
事業費	140,136	366,529	400,000	906,665	150,000
市町支出金(ソフト事業分)	100,000	244,000	300,000	644,000	112,000
うち県交付金	50,000	122,000	150,000	322,000	
市町支出金(ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	40,136	122,529	100,000	262,665	38,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	
担当者名	
連絡先	
電話	
FAX	
E-mail	

栃木県わがまちつながり構築事業計画書(単位事業収支予算書)

市町名	下野市	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	吉田お囃子会再興事業	
対象年度	6	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
市民活動補助金	244,000	
会費・参加料等徴収	30,000	夏祭参加料
寄付金等	92,529	支援者寄付金等
計	366,529	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
			県交付金		
報償費	150,000	135,920	67,960	14,080	
消耗品費	27,707	20,780	10,390	6,927	コピー用紙、インク、文房具等
印刷製本費	40,000	30,000	15,000	10,000	勧誘チラシ印刷
修繕費	76,400	57,300	28,650	19,100	楽器修繕(太鼓)
食材料費	31,799	0	0	31,799	
次年度繰越金	40,623	0	0	40,623	
				0	
				0	
				0	
				0	
計	366,529	244,000	122,000	122,529	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまちつながり構築事業計画書(単位事業調書)
【単独事業】

市町名	下野市
事業名	楽しもう～みんなで外遊び！！
事業主体の名称	外遊びを楽しむ会
代表者の名称	諏訪 守
事業主体の所在	下野市柴1019番地1
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・団体の目的:人と人が触れ合い楽しんで暮らすための交流の場として、ご近所の子ども・親・祖父母世代が、一緒に楽しめるような遊びを中心としたイベントを開催する ・設立年月日: 令和5(2023)年2月19日 ・構成員等: 会の目的・趣旨に賛同する個人
当該事業に係る地域の現状と課題	スマートフォンや携帯型ゲーム機等の普及により子どもの外遊びの機会が減少し、それにより子どもに必要な運動量の不足が生じている。また、新型コロナウイルス感染症の流行で地域住民同士の交流の機会が減少したことにより、地域住民の関係性が希薄化している。
事業目的	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの外遊びを支援することにより、必要な運動量を確保する。 ・子どもやその親だけでなく、シルバー世代の参加も促すことで、多世代間のつながりを創出し、地域活性化を図る。
事業概要	<p>【令和6年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域住民が主体となり、子どもたちを対象とした外遊びイベントを、月に1回(5月～12月)第3日曜日に開催した。 <p><実施時期> 令和6年4月1日～令和6年12月31日 開催回数: 計8回 開催場所: 友愛館 けんこう広場 参加人数: 計216人</p> <p>【令和7年度以降】</p> <p>本団体の単独事業では外遊びにより子どもの群れ遊びを促進するという目的を達成することが難しいため、本団体の事業としては中止するが、本事業により得られたノウハウを地元コミュニティに伝え、コミュニティが開催する地域イベント等の場で不定期に実施を続け、目標達成に努める。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>基本目標④「安心なくらしを守り幸せを実感できるまちをつくる」</p> <p>数値目標: 幸せだと感じている市民の割合 基準値77.0% 目標値80.0% 住みやすいと感じる市民の割合 基準値86.7% 目標値90.0%</p> <p>KPI: 市民活動補助事業から自立し自主事業に移行した団体数 基準値23団体 目標値33団体</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	令和5年度	令和6年度	令和7年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	外遊びイベントの開催 事業支援者との反省会 会員内での打合せ	外遊びイベントの開催 事業支援者との反省会 会員内での打合せ	本団体の単独事業としては実施しないが、地元コミュニティ主催のイベント内で外遊びイベントを不定期会する。なお、活動に係る経費も地元コミュニティで負担予定。		本団体の単独事業としては実施しないが、地元コミュニティ主催のイベント内で外遊びイベントを不定期会する。なお、活動に係る経費も地元コミュニティで負担予定。
事業費	124,419	124,009	0	248,428	0
市町支出金 (ソフト事業分)	92,000	92,000	0	184,000	0
うち県交付金	46,000	46,000	0	92,000	
市町支出金 (ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	32,419	32,009	0	64,428	0

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	
担当者名	
電話	
連絡先 FAX	
E-mail	

栃木県わがまちつながり構築事業計画書(単位事業収支予算書)

市町名	下野市	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	楽しもう～みんなで外遊び！！	
対象年度	6	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
市民活動補助金	92,000	
寄付金等	32,009	東方台地コミュニティ推進協議会
計	124,009	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
			県交付金		
報償費	59,796	49,000	24,500	10,796	事業支援者謝礼 景品
消耗品費	9,958	7,000	3,500	2,958	イベント用品代
食材料費	3,600	0	0	3,600	事業支援者用お茶
印刷製本費	6,779	5,000	2,500	1,779	告知チラシ代
通信・運搬費	2,980	2,000	1,000	980	関係先通知はがき等
備品購入費	34,396	25,000	12,500	9,396	イベント用具
使用料・賃借料	6,500	4,000	2,000	2,500	コミュニティセンターホール使 用料
				0	
				0	
				0	
計	124,009	92,000	46,000	32,009	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまちつながり構築事業計画書(単位事業調書)
【単独事業】

市町名	下野市
事業名	みんなのカタクリの里づくり事業
事業主体の名称	木を知ろう森を知ろう会
代表者の名称	吉田 春彦
事業主体の所在	〒329-0433 下野市緑4-24-5
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・団体の目的: 草木の保全活動、植栽による景観向上等 ・設立年月日: 平成20(2008)年3月11日 ・構成員等: 植物や自然を愛好する市民または市内勤務・通学者
当該事業に係る地域の現状と課題	市内全体では人口微増となっているが地域差があり、平成初期に整備されたグリーンタウン地区においては少子高齢化が進み空き家等も増え始めている。地域の魅力向上等による人口創出が望まれる。
事業目的	殺風景となっている公園の雑木林に多くのカタクリを植え付けることで「カタクリの里」をつくり、地域の魅力や地域住民同士の交流の創出、自然保護等を行う。
事業概要	<p>【令和6年度】</p> <p><活動期間> 令和6年4月1日～令和7年3月31日</p> <ul style="list-style-type: none"> ・応援会員向け樹木観察会 開催日: 令和6年4月1-3日 開催場所: 烏ヶ森公園 参加人数: 90名程度 ・カタクリ球根の植え付け活動 開催日: 令和6年10月 開催場所: 烏ヶ森公園 参加人数: 30人 ・整備作業(通年) ・応援会員登録推進活動(市外含む) <p>【令和7年度以降】</p> <p>補充と維持管理を中心に活動する。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>基本目標④「安心なくらしを守り幸せを実感できるまちをつくる」</p> <p>数値目標: 幸せだと感じている市民の割合 基準値77.0% 目標値80.0%</p> <p>住みやすくと感じる市民の割合 基準値86.7% 目標値90.0%</p> <p>KPI: 市民活動補助事業から自立し自主事業に移行した団体数 基準値23団体 目標値33団体</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	カタクリ球根の植え付け活動 整備作業 応援会員登録推進活動 応援会員向け樹木観察会	補充と維持管理を中心に活動	補充と維持管理を中心に活動		補充と維持管理を中心に活動
事業費	322,654	329,048	186,622	838,324	180,200
市町支出金(ソフト事業分)	236,000	240,000	90,000	566,000	0
うち県交付金	118,000	120,000	45,000	283,000	
市町支出金(ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	86,654	89,048	96,622	272,324	180,200

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	
担当者名	
連絡先	電話
	FAX
	E-mail

栃木県わがまちつながり構築事業計画書(単位事業収支予算書)

市町名	下野市	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	みんなのカタクリの里づくり事業	
対象年度	6	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
市民活動補助金	90,000	
会費・参加料	40,500	応援隊会員登録費1,000円×40人+カンパ500円
寄付金等	54,722	
事業収入	1,400	草花販売
計	186,622	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
			県交付金		
報償費	3,000	1,500	750	1,500	展示写真撮影謝礼
旅費	0	0	0	0	
消耗品費	173,290	86,100	43,050	87,190	事務用品、球根、山野草、腐葉土
印刷製本費	0	0	0	0	
備品購入費	0	0	0	0	
食糧費	3,321	0	0	3,321	作業時ボランティア等飲料代
使用料及び賃借料	4,800	2,400	1,200	2,400	会場使用料
次年度繰越金	2,211	0	0	2,211	
				0	
				0	
計	186,622	90,000	45,000	96,622	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまちつながり構築事業計画書(単位事業調書)
【単独事業】

市町名	下野市
事業名	えごのき塾事業
事業主体の名称	下野ふれあい会
代表者の名称	佐藤 善行
事業主体の所在	下野市薬師寺2859番地
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・団体の目的:子どもの健全育成、子育て支援 ・設立年月日:令和2(2020)年5月1日 ・構成員等:子供の育成(特に食育等)に興味・関心のある市民及び在勤者
当該事業に係る地域の現状と課題	若年人口の減少が予想されており、地域での子育て支援の活動を広報紙やインターネットを活用し市内外にPRするなど、子育て世代等若年層の流入、定住のための取組が求められる。
事業目的	子どもの食育や課外活動を通じ、子どもへの虐待防止や、子ども自身の自殺予防を図るほか、世代間交流の場を創出し、地域活性化を図る。
事業概要	<p>【令和6年度】 <活動期間>令和6年4月1日～令和7年3月31日 毎月第2土曜日に、 ・食育教室の開催 ・課外活動(自然体験等)の実施 ・季節に応じたイベントの実施</p> <p>を行った 開催回数:計7回 参加人数:約40人</p> <p>【令和7年度以降】 報道機関への取材依頼や団体自身での広報活動により幅広い参加者の確保を目指す。また、事業の質向上のための事業協力者募集、参加者へのアンケート調査等を行う。市の補助年度が終了することから資金面での継続の方法を模索する。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>基本目標③「若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる」 数値目標:下野市で今後も子育てをしていきたいと思う保護者の割合 基準値96.3% 目標値97.0% 出生数 基準値403人 目標値453人</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・食育教室の開催 ・課外活動(自然体験等)の実施 ・季節に応じたイベントの実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・食育教室の開催 ・課外活動(自然体験等)の実施 ・季節に応じたイベントの実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・食育教室の開催 ・課外活動(自然体験等)の実施 ・季節に応じたイベントの実施 		<ul style="list-style-type: none"> ・食育教室の開催 ・課外活動(自然体験等)の実施 ・季節に応じたイベントの実施
事業費	135,231	152,380	117,300	404,911	158,000
市町支出金 (ソフト事業分)	101,000	76,000	58,000	235,000	0
うち県交付金	50,500	38,000	29,000	117,500	
市町支出金 (ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	34,231	76,380	59,300	169,911	158,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	
担当者名	
連絡先	電話
	FAX
	E-mail

栃木県わがまちつながり構築事業計画書(単位事業収支予算書)

市町名	下野市	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	えごのき塾事業	
対象年度	6	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
市民活動補助金	58,000	
会費・参加料	16,100	参加者負担金
事業収入	0	えごのき農園収入
寄付金等	43,200	
計	117,300	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
			県交付金		
消耗品費	28,613	16,000	8,000	12,613	インク・肥料・苗等
原材料費	50,891	25,000	12,500	25,891	提供食事材料
使用料及び賃借料	3,000	1,000	500	2,000	公民館使用量 借地使用料(畑)
燃料費	2,196	1,000	500	1,196	灯油代(会場で使用する暖房器具)
通信・運搬費	0	0	0	0	
保険料	3,920	1,000	500	2,920	参加者の活動時保険
備品購入費	28,680	14,000	7,000	14,680	圧力鍋
				0	
				0	
計	117,300	58,000	29,000	59,300	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまちつながり構築事業計画書(単位事業調書)
【単独事業】

市町名	下野市
事業名	かんぴょうとふくべの魅力発信事業
事業主体の名称	Paprika
代表者の名称	平林美代子
事業主体の所在	下野市緑5-1-17
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> 団体の目的: 下野市の特産物であるかんぴょうの素晴らしさを食と工芸品の両面から発信するとともに、子育てがひと段落した女性の活躍の場を創出する。 設立年月日: 令和5(2023)年4月1日 構成員等: 会の目的に賛同し活動できる者
当該事業に係る地域の現状と課題	本市はかんぴょうの生産量日本一であり、令和2年にはかんぴょうに関する食文化、伝統、産業を守り、市民の豊かで健康的な生活を実現するための「かんぴょう条例」を制定し、かんぴょうの消費拡大、産業振興を推進しているが、かんぴょうに触れる機会は十分でないため、さらなる消費拡大等の推進が必要な状況である。
事業目的	かんぴょうを利用した食育を行ったり夕顔の実を乾燥したふくべを活用しかんぴょうの広報活動を行うことで下野の特産品として広く発信すると同時に、子育てがひと段落した女性の活躍の場を創出する。
事業概要	<p>【令和6年度】</p> <p><活動期間> 令和6年4月1日～令和7年3月31日</p> <p>①かんぴょう料理コンテストへの参加 開催日: 令和6年5月26日(日) 開催場所: ゆうがおパーク</p> <p>②小学校ふくべ細工体験 開催日: 6/8、6/14、6/26、7/22 開催場所: 市内小学校 参加人数: 多数</p> <p>③ゆうがおパークマルシェ 開催日: 令和6年6月29日(日) 開催場所: ゆうがおパーク 参加人数: 100名程度(客入り) その他、7/20かんぴょう祭り、7/20燈桜会、10/27下野市産業祭等へ出店</p> <p>【令和7年度以降】</p> <p>他のかんぴょう関連団体と協力しながらワークショップ等を行い、かんぴょうの魅力発信を継続する。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>基本目標④「安心なくらしを守り幸せを実感できるまちをつくる」</p> <p>数値目標: 幸せだと感じている市民の割合 基準値77.0% 目標値80.0% 住みやすいと感じる市民の割合 基準値86.7% 目標値90.0% KPI: 市民活動補助事業から自立し自主事業に移行した団体数 基準値23団体 目標値33団体</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳 (単位: 円)

	令和6年度	令和7年度	令和8年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	マルシェイベントへの出店	マルシェイベントへの出店 食育講座の開催			マルシェイベントへの出店 食育講座の開催
事業費	199,003	135,000		334,003	135,000
市町支出金 (ソフト事業分)	100,000	100,000		200,000	67,000
うち県交付金	50,000	50,000		100,000	
市町支出金 (ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	99,003	35,000	0	134,003	68,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	
担当者名	
連絡先	電話
	FAX
	E-mail

栃木県わがまちつながり構築事業計画書(単位事業収支予算書)

市町名	下野市	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	かんぴょうとふくべの魅力発信事業	
対象年度	6	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
市補助金	100,000	
会費・参加料	35,000	
事業収入	64,000	出店時売上げ
寄付金	3	
計	199,003	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
		市	町		
報償費	44,750	44,750	22,375	0	講師謝礼
旅費	2,500	2,500	1,250	0	出店時交通費
消耗品費	15,727	15,727	7,864	0	容器、袋等
原材料費	57,868	0	0	57,868	かんぴょう、調味料、肉等出店時材料費
印刷製本費	140	105	53	35	チラシ印刷
使用料及び賃借料	1,500	1,500	750	0	出店費
備品購入費	39,842	35,418	17,709	4,424	鉄板、プロパンガス、のぼり
手数料	0	0	0	0	各種手数料
次年度繰越金	36,676	0	0	36,676	
				0	
				0	
				0	
計	199,003	100,000	50,000	99,003	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまちつながり構築事業計画書(単位事業調書)
【単独事業】

市町名	下野市
事業名	教育講演会事業
事業主体の名称	とちっこ未来育進会
代表者の名称	山井佑利恵
事業主体の所在	下野市緑2-6-1
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・団体の目的:子どもの健全育成、子育て支援 ・設立年月日:令和4(2022)年10月20日 ・構成員等:子供の育成に興味・関心のある者
当該事業に係る地域の現状と課題	若年人口の減少が予想されており、地域での子育て支援の活動を広報紙やインターネットを活用し市内外にPRするなど、子育て世代等若年層の流入、定住のための取組が求められる。
事業目的	「すべての子どもたちが生き生きと輝ける」ことを目的に、教育者や保護者、子どもを対象とした教育講演会を行う。
事業概要	<p>【令和6年度】 <活動期間> 令和6年4月1日～令和7年3月31日 教育講演会を行った。 日程 令和6年5月11日(日) 講演会テーマ 『夢見る校長先生』特別上映会・トークショー 対象者 下野市民を中心に、テーマに興味のある者 参加予定人数 280人</p> <p>【令和7年度以降】 代表者の個人都合により、次年度の本団体の単独事業としての活動は見送るが、時期を見て再開する予定である。本団体による事業再開までの期間は、子育て世代を対象とした講演会を開催する他団体の開催補助をし、継続して事業目的の達成を図る。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	基本目標③「若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる」 数値目標:下野市で今後も子育てをしていきたいと思う保護者の割合 基準値96.3% 目標値97.0% 出生数 基準値403人 目標値453人

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	令和6年度	令和7年度		支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	教育講演会の開催	次年度の本団体の単独事業としての活動は見送るが、時期を見て再開予定。			次年度の本団体の単独事業としての活動は見送るが、時期を見て再開予定。
事業費	577,000	0		577,000	0
市町支出金 (ソフト事業分)	100,000	0		100,000	0
うち県交付金	50,000	0		50,000	
市町支出金 (ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	477,000	0	0	477,000	0

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	
担当者名	
連絡先	電話
	FAX
	E-mail

栃木県わがまちつながり構築事業計画書(単位事業収支予算書)

市町名	下野市	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	教育講演会事業	
対象年度	6	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
市民活動補助金	100,000	
会費・参加料	477,000	2,500円×180名
計	577,000	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
			県交付金		
報償費	75,000	53,466	26,733	21,534	登壇者謝金
旅費	7,875	3,938	1,969	3,937	登壇者交通費・宿泊費
印刷製本費	51,082	25,540	12,770	25,542	チラシ・ポスター印刷
使用料及び賃借料	22,350	11,174	5,587	11,176	会場使用料・備品借用
燃料費	1,175	588	294	587	灯油代
通信・運搬費	3,900	1,950	975	1,950	郵送代
委託料	30,000	0	0	30,000	映画上映費
備品購入費	6,688	3,344	1,672	3,344	HDMIケーブル等上映用備品
次年度以降繰越金	378,930	0	0	378,930	
				0	
計	577,000	100,000	50,000	477,000	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまちつながり構築事業計画書(単位事業調査)
【単独事業】

市町名	下野市
事業名	吉田村の夏祭事業
事業主体の名称	吉田村の夏祭実行委員会
代表者の名称	伊澤 敦彦
事業主体の所在	下野市本吉田784
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・団体の目的:閉校した吉田地区の小学校をコミュニティ推進の場として利活用し、地域の夏祭りを復活させ、交流を通じて郷土愛の醸成と地域の活性化を図る。 ・設立年月日:2022年6月1日 ・構成員等:委員会の目的・趣旨に賛同する個人
当該事業に係る地域の現状と課題	吉田地区では義務教育学校への統合に伴い令和4年3月に吉田東小学校及び吉田西小学校の2校が閉校を迎え、地域コミュニティの核でもあった吉田地区内の学校は無くなった。今後、吉田地区の活性化には地域コミュニティの中心となる場が望まれる。
事業目的	閉校した吉田地区の小学校を活用し、衰退した地域の夏祭りイベントを復活させることにより、少子高齢化等により失われつつある地域の伝統や文化と希薄化するコミュニティの再興を図る。また、市外から祭りに訪れる人達との交流により行事の活性化やアグリツーリズムを推進する吉田地区の魅力発信により関係人口増を図る。
事業概要	<p>【令和6年度】【関係人口の分類I-d(参加・交流型)】</p> <p>実行委員会会議 ポスター・チラシ印刷…地域の夏祭の枠を超えた、若者の興味をひくようなデザインにより、市内外から多くの人を呼び込む。 ポスター・チラシは市内公共施設や店舗等多くの人が訪れる場所に掲示した。 Instagramをはじめ各種SNSで祭りの概要、イベント内容を発信した。 夏祭り開催(令和6年7月28日(日)) 自治会からの出店にとどまらず、地元の人気飲食店やJA、農産物加工組合等からも出店を募ることで、地域の魅力発信を行う。 開催日:令和6年7月28日(日) 開催場所:吉田東小学校跡地 参加人数:約3,000人</p> <p>【令和7年度以降】</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>基本目標④「安心な暮らしを守り幸せを実感できるまちをつくる」</p> <p>数値目標:幸せだと感じている市民の割合 基準値77.0% 目標値80.0% 住みやすくと感じる市民の割合 基準値86.7% 目標値90.0%</p> <p>KPI:市民活動補助事業から自立し自主事業に移行した団体数 基準値23団体 目標値33団体</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳 (単位:円)

	令和5年度	令和6年度	令和7年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容		計画書作成 実行委員会会議 ポスター・チラシ印刷 夏祭り開催	計画書作成 実行委員会会議 ポスター・チラシ印刷 夏祭り開催		計画書作成 実行委員会会議 ポスター・チラシ印刷 夏祭り開催
事業費		1,482,946	775,000	2,257,946	775,000
市町支出金 (ソフト事業分)		300,000	300,000	600,000	300,000
うち県交付金		150,000	150,000	300,000	
市町支出金 (ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	0	1,182,946	475,000	1,657,946	475,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	
担当者名	
電話	
連絡先 FAX	
E-mail	

栃木県わがまちつながり構築事業計画書(単位事業収支予算書)

市町名	下野市	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	第3回「吉田村の夏祭」事業	
対象年度	6	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
市民活動補助金	300,000	
会費・参加料等徴収	70,000	出展料
寄付金等	1,005,000	協賛
前年度繰越金	107,964	
計	1,482,964	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
		県交付金			
報償費	79,200	0	0	79,200	警備外注、運営人件費
印刷製本費	20,350	15,262	7,631	5,088	ポスター、チラシ印刷
使用料及び賃借料	245,800	184,350	92,175	61,450	会場設営レンタル品
燃料費	0	0	0	0	発電機燃料費
保険料	10,480	7,860	3,930	2,620	イベント保険
備品購入費	271,550	60,880	30,440	210,670	樹脂テーブルセット他
工事請負費	570,150	0	0	570,150	電気配線工事
報償費	60,000	0	0	60,000	イベント出演者謝礼
消耗品費	42,197	31,648	15,824	10,549	救急用品、事務用品等
次年度繰越金	183,237	0	0	183,237	
				0	
計	1,482,964	300,000	150,000	1,182,964	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまちつながり構築事業計画書(単位事業調書)
【単独事業】

市町名	下野市
事業名	高校生もしもプロジェクト事業
事業主体の名称	特定非営利活動法人青二才
代表者の名称	鈴木 祐磨
事業主体の所在	〒329-0511 下野市石橋779-1
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・団体の目的: 若者の活動支援、地域コミュニティの運営 等 ・設立年月日: 令和5(2023)年1月11日 ・構成員等: 法人の目的・趣旨に賛同する個人
当該事業に係る地域の現状と課題	高校・大学卒業後に進学や就職のため市を離れる若者が多く、若者のUターンを促進する必要がある。
事業目的	高校生主導のイベントを実施することで、高校生自身の自己肯定感を高めるとともに、地元への愛着をはぐくむ。また、市内で活動する若者を増やすことによりまちの活性化を図る。
事業概要	<p>【令和6年度】</p> <p><活動期間> 令和6年4月1日～令和7年3月31日</p> <p>大学生や高校生を対象に以下の事業を行った</p> <ul style="list-style-type: none"> ・居場所づくりのためのカフェ出店(通年) ・高校生主導企画の実施 <p>6月10日 高校生による商品開発 6月19日 高校生店主によるカフェ出店 7月15日 下野市下古山地区のお神輿ボランティア参加(高校生12名、大学生以上25名) 8月3日、9月7日、10月19日 市内イベントへの出店</p> <p>【令和7年度以降】</p> <p>街中カフェを継続運営し、郷土愛醸成や若者のUターンを促す。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>基本目標④「安心なくらしを守り幸せを実感できるまちをつくる」</p> <p>数値目標: 幸せだと感じている市民の割合 基準値77.0% 目標値80.0% 住みやすいと感じる市民の割合 基準値86.7% 目標値90.0%</p> <p>KPI: 市民活動補助事業から自立し自主事業に移行した団体数 基準値23団体 目標値33団体</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	令和5年度	令和6年度	令和7年度	支援期間の事業費計	支援期間の翌年度
事業内容	高校生向けワークショップの実施 高校生主導企画の実施 (高校生ラジオ等)	高校生向けワークショップの実施 高校生主導企画の実施	高校生向けワークショップの実施 高校生主導企画の実施		高校生向けワークショップの実施 高校生主導企画の実施
事業費	50,774	484,810	450,300	985,884	600,000
市町支出金(ソフト事業分)	50,000	300,000	300,000	650,000	300,000
うち県交付金	21,088	150,000	150,000	321,088	
市町支出金(ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	774	184,810	150,300	335,884	300,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	
担当者名	
連絡先	
電話	
FAX	
E-mail	

栃木県わがまちつながり構築事業計画書(単位事業収支予算書)

市町名	下野市	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	高校生もしもプロジェクト事業	
対象年度	6	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
市民活動補助金	300,000	
事業収入	184,810	カフェ売り上げ
寄付金等	0	
計	484,810	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
		県交付金			
報償費	81,840	61,380	30,690	20,460	
旅費	48,840	36,630	18,315	12,210	ボランティア交通費
消耗品費	135,241	108,022	54,011	27,219	イベント用品等
食材料費	83,822	0	0	83,822	イベント時お菓子飲み物代
使用料及び賃借料	1,000	750	375	250	カフェスペース借用費、公民館使用
備品購入費	78,729	78,728	39,364	1	SDカード等カメラ備品
印刷製本費	13,236	13,236	6,618	0	チラシ印刷等
燃料費	7,972	1,254	627	6,718	発電機ガソリン代、灯油代
保険料	0	0	0	0	ボランティア活動保険
次年度繰越金	34,130	0	0	34,130	
				0	
計	484,810	300,000	150,000	184,810	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまちつながり構築事業計画書(単位事業調査)
【単独事業】

市町名	下野市
事業名	下野かんびょう・ふくべ振興事業
事業主体の名称	下野かんびょう・ふくべ振興の会
代表者の名称	青柳 庄一
事業主体の所在	下野市上古山1502-84
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・団体の目的: 下野市の特産物であるかんびょうを栃木の文化遺産として発信し、下野市を「かんびょうの郷」にする。 ・設立年月日: 令和3(2021)年1月12日 ・構成員等: 会の目的に賛同し活動できる者
当該事業に係る地域の現状と課題	本市はかんびょうの生産量日本一であり、令和2年にはかんびょうに関する食文化、伝統、産業を守り、市民の豊かで健康的な生活を実現するための「かんびょう条例」を制定し、かんびょうの消費拡大、産業振興を推進しているが、一般市民にとってかんびょうやふくべに触れる機会が少なく、ふくべ細工等の発信によるさらなる産業振興が必要な状況である。
事業目的	夕顔の実を乾燥したふくべを活用し、下野の文化遺産として広く発信する。
事業概要	<p>【令和6年度】</p> <p><活動期間> 令和6年4月1日～令和7年3月31日</p> <ul style="list-style-type: none"> ・かんびょう・ふくべの生産 ・ふくべ細工を使用したふくべ講座の開催や行政イベント等(国際・国内協定都市交流など)への協力 <p>①下野かんびょう祭り 開催日: 令和6年7月20日(日) 開催場所: グリムの館 参加人数: 60人</p> <p>②燈桜会 開催日: 令和6年7月20日(土) 開催場所: 天平の丘公園 参加人数: 400人</p> <p>③その他、公民館講座、市内学校での講座等 開催回数: 計84回 参加人数: 約2000人</p> <p>【令和7年度以降】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動の継続 ・栃木県内のふくべ愛好家が一同に会するコンテストを開催し、県内外に発信する。
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>基本目標④「安心なくらしを守り幸せを実感できるまちをつくる」</p> <p>数値目標: 幸せだと感じている市民の割合 基準値77.0% 目標値80.0% 住みやすいと感じる市民の割合 基準値86.7% 目標値90.0% KPI: 市民活動補助事業から自立し自主事業に移行した団体数 基準値23団体 目標値33団体</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	かんびょう・ふくべの生産 ふくべ講座の開催、行政イベント等への協力	かんびょう・ふくべの生産 ふくべ講座の開催、行政イベント等への協力 コンテスト等の開催	かんびょう・ふくべの生産 ふくべ講座の開催、行政イベント等への協力 コンテスト等の開催		かんびょう・ふくべの生産 ふくべ講座の開催、行政イベント等への協力 コンテスト等の開催
事業費	619,932	627,911	808,236	2,056,079	740,000
市町支出金 (ソフト事業分)	300,000	300,000	300,000	900,000	0
うち県交付金	150,000	150,000	150,000	450,000	
市町支出金 (ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	319,932	327,911	508,236	1,156,079	740,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	
担当者名	
電話	
FAX	
E-mail	

栃木県わがまちつながり構築事業計画書(単位事業収支予算書)

市町名	下野市	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	下野かんぴょう・ふくべ振興の会	
対象年度	6	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
市補助金	300,000	
事業収入(物販等)	400,000	
寄付金等	108,236	
計	808,236	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
			県交付金		
報償費	82,971	0	0	82,971	ボランティア等謝礼
消耗品費	320,788	139,175	69,588	181,613	スプレー、絵の具、 ふくべ等
食材料費	22,092	0	0	22,092	ボランティア昼食代等
印刷製本費	31,649	15,825	7,912	15,824	写真印刷代
使用料及び賃借料	150,000	75,000	37,500	75,000	農地、会場代等
燃料費	0	0	0	0	灯油
備品購入費	179,721	70,000	35,000	109,721	工具等
通信運搬費	21,015	0	0	21,015	通知送付切手代、 PCデータ代
				0	
				0	
				0	
				0	
計	808,236	300,000	150,000	508,236	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまちつながり構築事業計画書(単位事業調査)
【単独事業】

市町名	下野市
事業名	絵本の読み聞かせ事業
事業主体の名称	おはなしさんぽ
代表者の名称	増渕 晴美
事業主体の所在	下野市柴769番地55
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・団体の目的:子育て中の父母が、子どもたちを遊ばせながら交流する中で、育児の悩みを共有できるような居場所づくりを行う。 ・設立年月日:令和6(2024)年4月23日 ・構成員等:会の目的・趣旨に賛同する個人
当該事業に係る地域の現状と課題	子育て世帯の核家族化、三世帯同居世帯の減少が進み、家庭での保育力の低下が懸念されるとともに、子育て中の父母の孤立感・孤独感による精神面での負担が懸念される。
事業目的	<ul style="list-style-type: none"> ・絵本の読み聞かせを中心に、子供とその親を対象とした様々なイベントを行う。 ・イベントの場に親が集まることにより、様々な悩みを共有したり、団体構成員(子育てを終えた世代)が相談に乗るなど親同士のコミュニティを創出する。
事業概要	<p>【令和6年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域住民が主体となり、絵本の読み聞かせを中心としたイベントを、月に1回第2火曜日(6月~12月)に開催した。 <p><実施時期>令和6年4月1日~令和6年12月31日 開催回数:計7回 開催場所:友愛館 参加人数:計約70人</p> <p>【令和7年度以降】</p> <p>事業内容を修正しながら、永続的にイベントに取り組んでいく。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>基本目標④「安心な暮らしを守り幸せを実感できるまちをつくる」</p> <p>数値目標:幸せだと感じている市民の割合 基準値77.0% 目標値80.0% 住みやすいと感じる市民の割合 基準値86.7% 目標値90.0%</p> <p>KPI:市民活動補助事業から自立し自主事業に移行した団体数 基準値23団体 目標値33団体</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	令和6年度	令和7年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	絵本の読み聞かせイベントの開催 事業支援者との反省会 会員内での打合せ	絵本の読み聞かせイベントの開催 事業支援者との反省会 会員内での打合せ		外遊びイベントの開催 事業支援者との反省会 会員内での打合せ
事業費	67,428	100,000	167,428	100,000
市町支出金 (ソフト事業分)	50,000	75,000	125,000	50,000
うち県交付金	25,000	37,500	62,500	
市町支出金 (ハード事業分)			0	
うち県交付金			0	
その他自主財源等	0	17,428	42,428	50,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	
担当者名	
電話	
連絡先 FAX	
E-mail	

栃木県わがまちつながり構築事業計画書(単位事業収支予算書)

市町名	下野市	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	絵本の読み聞かせ事業	
対象年度	6	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
市民活動補助金	50,000	
寄付金等	17,428	東方台地コミュニティ推進協議会
計	67,428	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
			県交付金		
報償費	21,000	16,800	8,400	4,200	読み聞かせ支援者謝礼(外部)
消耗品費	7,628	6,102	3,051	1,526	コピー用紙・PCインク
食材料費	3,600	0	0	3,600	事業支援者用お茶
印刷製本費	22,060	17,648	8,824	4,412	告知チラシ代
使用料・賃借料	10,200	8,160	4,080	2,040	会場使用料
通信・運搬費	2,940	1,290	645	1,650	ハガキ、切手代
				0	
				0	
				0	
計	67,428	50,000	25,000	17,428	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合